

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年3月24日（金） NO29 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

修了の日を迎えて

年度末の煩雑な仕事に追われ、学校だよりに手がつかず、いつの間にか修了式を迎えることとなりました。16日に卒業式が挙行されましたが、マスクの着用が若干緩和され、生徒の表情を少し伺うことができる中での卒業式でした。本当ならば、2年生を全員参加させて、式の様子を目に焼き付けて欲しいと考えていました。そして、自分たちは今年の卒業式を超えるような一年間を過ごそうと強く心に刻んでほしいと思っていました。コロナ禍の生活が3年を経過し、4月から新しい生活様式になりそうです。「マスクの着用を求めない」ということになりますが、これはあくまでも任意で、医療従事者が家庭にいたり、高齢者を抱えていたり、ケースバイケースです。今後の生活様式にご留意ください。今回、年度末の作業に忙殺されて三股プライドを書けなかったのですが、気持ちに余裕がないと、何もひらめかないことが分かりました。いかに、心のゆとりが大事なのかと痛感させられました。身も心もフレッシュでなければならないですね。

文字に込める思い

私は校長としてこの学校が3校目になります。高崎中に2年、高城中に1年、そして三股中で1年経ちます。高崎プライド、高城プライド、三股プライドというタイトルで学校だよりに思いをつづってきました。学校であった出来事の紹介よりも、世の中や自分の周囲で起きたことに対する、その時々を思いを文字にしています。できれば生徒に目を通してもらい、何かを感じて欲しいと思って書いているのですが、家に帰ったら生徒のかばんの中で眠っているのかもしれない。学校では朝の登校指導をしたり、できるだけ授業中に廊下を巡回したり、給食当番のお出迎えをしたりと、極力生徒とのコミュニケーションを図ろうと努めているのですが、この一年間で一体何人の生徒と会話をしたのか分かりません。だけど、生徒と会話することはとても楽しいですし、「なるほど」と感心したり納得させられたりすることが多くてとても勉強になります。この一年間、保護者の皆様にも大変お世話になりました。また、たくさんのご理解とご厚情を賜ったと感謝しております。来年度は生徒数がさらに増え全校生徒940名ほどになります。益々知恵を絞り、職員一致団結して教育活動に邁進してまいります。一年間ありがとうございました。